

甲南大学コミュニティデザインセンター 地域連携プロジェクト

地域連携による環境教育の展開
- あいな里山公園と甲南大学キャンパスにおける環境教育ボランティア -

文学部人間科学科 谷口ゼミ

プロジェクト活動内容

- ①あいな里山公園環境ボランティア
- ②ヒアリング調査
- ③キャンパス内の地域連携インタビュー

甲南大学から藍那への経路



国営明石海峡公園神戸地区 あいな里山公園



里山とは

長い時間をかけて人が自然に働きかけて作り上げられた二次的自然



里山の棚田



溜め池



平地を利用した畑

(2006撮影あいな里山公園)

不耕起農法のボランティア活動

◆冬期湛水・不耕起農法とは

- ・冬期湛水とは、稲刈り直後から冬場に田に水をはること
- ・冬期湛水により田んぼは、一年中生きものが住める環境となり、微生物から始まる食物連鎖が、鳥を頂点とする田んぼの生態系を蘇らせる。
- ・肥料なしでも、水田にたくさんの生物が生息し、循環させることで、肥料なしの生物循環型農業が期待できる。
- ・人工的な科学肥料や農薬を使うことなく、より自然な有機農法を実施できる。

不耕起農法のボランティア活動

冬期湛水・不耕起農法のメリット

- ・固い土壌に田植えをすることで稲が野生化する
冷害などに強くなる
- ・春から夏に水面に藻が生え、雑草の繁殖を抑える
何年かすると、雑草の種が土壌深くに埋まるので、
年々雑草の減少が期待できる。
雑草の除去が簡単
- ・耕さないで農作業の軽減になる
その分、自然生態系の仕組みを知り観察が可能
- ・無農薬なので安全な米ができ、水質も汚染しない
他の土地を汚染しない

不耕起農法のボランティア活動（2006年度）



あいな里山公園の田んぼ



田植え（6月）



成長した稲（8月）



公園内で増えるイノシシ

不耕起農法による田植え (2007年6月16日)



昨年の株の間に苗を植える



田植えをするゼミ生



アメリカザリガニ(外来種)

稲刈り(2007年10月14日)



稲刈りをするゼミ生



稲場に刈った稲を干す

脱穀(2007年11月3日)



稲場にかけ乾燥した稲穂



千歯こきでの脱穀

あいな里山祭り (2007年11月24日)



受付



ゲル作り体験



竹細工体験



炭焼きクラブ

ヒアリング調査 藍那の古道歴史ハイキング(あいな里山祭)



椎の木塚



相談ヶ辻



道標 (右:三木 左:藍那)

轆越道



とても細い道だが、20分ほど歩くと道標が4つ残っていた。古くから神戸、兵庫、藍那、播磨をつなぐ道として利用された。



昔、馬と人間が歩きやすいように段差のある道路になっていた。今もなお、名残が残っている貴重な場所。

(2007年撮影 あいな里山公園)

ヒアリング調査



有馬籠

(兵庫県ホームページより抜粋)

あいな地域は竹の種類が豊富で、籠以外にも土壁や瓦など、豊富されていました。



六條八幡神社の流籠馬神事

(神戸郷土研究ホームページより抜粋)

古くは豊作祈願中心の神事だったが、現在は、1年の無益息災・厄除け開運を願う神事になっています。

甲南大学における地域連携

哲学思想基礎論で実施される「第7回環境啓発シンポジウム」にむけて、より詳しく各部署の取り組みを知るため

管財課、学生部、生協、甲南サービスセンター、対馬造園、関西明装

6つの部署へ3点のインタビューを実施

- ①ゴミ・エネルギーの現状とキャンパスの環境
- ②ゴミの処理・省エネと学生のマナー
- ③各部署からの要求・学生が出来ること

6部署へのインタビュー

- ・ マナーが年々悪くなっている(甲南サービスセンター、対馬造園、学生部、管財課)
- ・ 植木のところにゴミが捨てられている(対馬造園)
- ・ キャンパス全面禁煙による吸殻の増加(甲南サービスセンター、対馬造園、生協)
- ・ 道に広がって歩く(学生部)



甲南サービスセンター - 広野さん



学生部の植村さんと山田さん

甲南大学ゴミ排出量(2007年11月)

	燃えるゴミ 90ℓ (1個288円)	燃えるゴミ 45ℓ (1個144円)	燃えないゴミ 70ℓ (1個224円)	粗大ゴミ 70ℓ (1個224円)	資源ゴミ 70ℓ (1個224円)
本校舎	1325		30	50	0
7号館	313	83			
西校舎	94	3			
六アイ	177	16	25	4	
広野	0	0	0	0	1
平生		18			
セミナー	21				
合計	1930	120	55	54	1
運搬金額	555,840	17,280	12,320	12,096	224

(甲南サービスセンター)

90リットルのゴミ袋購入費と運搬費でゴミ袋1につき 約500円の費用が必要

500円(ゴミ1つにかかる費用)×1750個(1ヶ月のゴミ排出の平均) = 87万5000円
87万5000円×12ヶ月 = 1050万円

各部署が1%ずつゴミ袋を減らすことができれば・・・

本校舎13個、7号館3個、西校舎1個、六アイ2個、セミナーハウス1個
= 1ヶ月で20個の削減

20個×500円 = 1万円
1万×12ヶ月 = 12万円

年間約12万円の削減

学生への要望

- ・紙のリサイクル (甲南サービスセンター)
- ・マナーとモラル (全体的な意見)
- ・省エネを心がける (管財課)
- ・学内のサービスに対する意見がほしい (管財課)



学内の植物の説明
(対馬造園戸田さん)



紙の回収ボックス
(生協北館)



文学部事務員さんとの花植え



甲南女子高校生との種刈り



甲南小学生との竹とんぼ作り